

International Cooperation Center for
Agricultural Education, Nagoya University

ICCAE

 **news**
No.9 2004. 4.1

名古屋大学 農学国際教育協力研究センター ニュース

平成16年4月1日発行 第5巻 第1号(年2回発行;通巻8号)

発行/名古屋大学 農学国際教育協力研究センター
〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL 052-789-4225(受付) FAX 052-789-4222

<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~iccae/index.html>

e-mail:iccae@agr.nagoya-u.ac.jp

第5回オープンフォーラム 「インドシナ半島における農業・ 高等教育」

プロジェクト開発研究領域 松本 哲男

農学国際教育協力研究センターは、12月18、19日の2日間、「インドシナ半島における農業・高等教育」をテーマに第5回オープンフォーラムを豊田講堂第1会議室において開催し、北海道から九州までの全国から約70名が参加しました。今回のオープンフォーラムの目的は、ベトナム戦争やポルポトによるジェノサイドとその後の戦乱のため、他のアジア諸国からははるかに遅れた状況にあるベトナム、カンボジア、

ラオスに焦点あて、この地域で活動している日本の大学と国際協力機関が討議することにより、インドシナ半島の農業・高等教育の国際協力を的確に効率よく行うための方策を見つけることにありました。金森秀行・国際協力機構（JICA）国際協力専門員・元本センター客員教授が、センターにおける研究成果として「JICA農業・高等教育プロジェクトの評価と教訓」を講演し、引き続いて鈴木俊・東京農工大学教授、渡辺研・東京農工大学農学部講師、縄田栄治京都大学大学院農学研究科助教授、緒方一夫・九州大学熱帯農業研究センター教授が現地における取り組みを報告しました。小山内優・政策研究大学院大学教授は、大学が国際開発戦略を持ってODAに参加することの重要性を、半谷良三・JICA国際協力総合研究所調査研究第二課課長は、JICAのインドシナ地域に対する協力政策、松本勝男・国際協力銀行（JBIC）開発第2部調査役は、同地域におけるJBICの業務実施方針を発表しました。宮田悟・国際農林水産業研究センター（JIRCA）は、大学と研究機関の連携の重要性を報告しました。翌日はこれらの講演と松本本センター教授による同地域における取り組みの報告と提案に基づいて、活発な討議と忌憚のない意見の交換が行われました。国立大学は2004年4月から独立法人になり、従来に比べ、自ら研究資金を獲得することに力を注ぐ必要性が飛躍的に高まるとともに、国際協力に関するカウンターパートの多様な要求に、一大学で対応することはますます困難になることが予想されます。出席者は今後お互いに協力してインドシナ地域の農業・高等教育に取り組むことを確認、合意しました。



講演される金森JICA国際協力専門員